

単元名：

「織田信長と戦国の世」

(全○時間扱い中 第○時)

授業日時 2019年9月15日(水)第1校時

授業学級 6年2組

授業会場 6年2組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

長篠の戦いや楽市楽座などの戦及び政策の奇抜さに触れた児童は、織田信長がどんな考えを持った人物だったのか、その人物像を探り、思いを寄せることで信長を理解しようとする事ができる。

(2) 授業のポイント

- ・室町の文化を考える場面で、義満と義政の違いに触れた子ども達が、武将の性格の違いに着目した。【前時までの子どもの様子】
- ・多くの信長の行った政策や戦を伝えることを通して、信長について深く考えられるようにする。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材・●児童の反応	時間
導入	1. 長篠合戦図屏風から読み取れることを“戦い方”に注目して挙げる。 問題：織田信長とはどのような考えを持ち天下統一を目指した人物なのだろうか。	○「さっそくだけこの絵は長篠の戦いを描いたものです。ここから読み取れることを“戦い方”に着目して三分ほどで書き出してみよう。」 (意図)鉄砲を誰よりも早く取り入れたことに視点を向けることで信長が今までの武将より新しいことを取り入れた武将ということに気付いてもらう。 ★ワークシートに記入後発表 ◇ここはあまり時間を取らずにサラッとおこなう。 ●「信長は鉄砲を使っているのに武田は刀とか馬とか使っている。」 ●「なんか戦い方の違いが元寇の時みたい。」 ●「川の前に陣地を置いている。」 ●「人数が信長のほうが多い気がする。」 ●「銃をつかっているから信長のほうが有利だともうな」 ○「この戦い勝ったのは織田と武田のどっち？その理由は？」 ●「信長に決まってるよ、銃使っている相手に刀じゃ勝てるはずがないからね。」	6
【学習課題】織田信長の人物像にせまろう。			

展開	2. 人材登用の方法、楽市楽座、関所の撤廃、キリスト教の導入といった政策を知る。	○「織田信長は戦いだけでなく政策にも力を入れていた武将なんだ。今日はそのいくつかを紹介するから信長の人物像にせまる鍵として考えていこう。」 ★パワーポイントであらかじめ作成したスライドを提示して進めていく。 (意図) アニメーションを使って見せることで児童の関心を惹きつつよりわかりやすい説明とする。	10
	3. なぜ信長は楽市楽座を開いたり関所をなくしたりしたのだろうかについて考える。	【評価 (対象)】 信長の人物像を考えることができる (ワークシート) ○「なんで信長は楽市楽座を開いたり関所をなくしたりしたのかな？ここに信長のどんな意図が隠されているのだろう？」 ●「自由に商売をさせることでお金の回りを良くして自分の城下町を強くしたかったとおもう。」 ●「自分のことをいいやつだと思わせることで信頼を得ようとしていたと思う。ほら、鎌倉幕府は信頼がなくなったから滅びたし。」 ★ワークシートに記入後発表	
終末	4. 自分の考える信長の人物像について考える。	○「信長って実際はどんな人物だったのかな？資料を参考に考えてみよう。」 ◇机間指導で児童の意見を把握し指名していく。 ●「どんどん他の人が思いつかないような政策を行うことで他の武将に差をつけて天下統一を目指したと思う。」 ●「元寇の時と逆のことをしようとしていたのかも。国内を自分のものにして外国も支配しようとしてたのかな。」 ●「自分のことしか考えてないとても自己中心的な人なきがする。けどだからこそ強力で有名な武将だったのかな。」	14
	5. もし信長が現代に現れたらどんな政策で日本を変えてくれるかを考える。	◇授業の最後に投げかける。	5